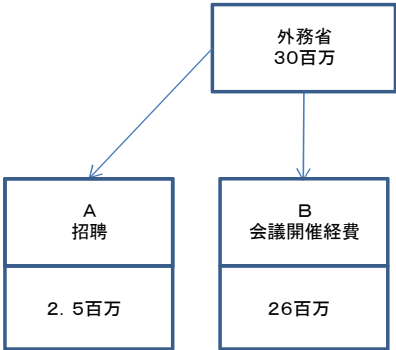


平成25年行政事業レビューシート (外務省)									
事業名	アフガニスタン復興支援会合			担当部局庁	中東アフリカ局			作成責任者	
事業開始・終了(予定)年度	平成15年度開始			担当課室	中東第二課			課長 金井 正章	
会計区分	一般会計			政策・施策名	基本目標Ⅰ：地域別外交 具体的施策Ⅰ－５－１：中東地域安定化に向けた働きかけ				
根拠法令 (具体的な条項も記載)	外務省設置法第4条第二・三項			関係する計画、通知等	—				
事業の目的 (目指す姿を簡潔に。3行程度以内)	アフガニスタンにおいては、2014年末に国際治安支援部隊が撤収する予定であり、その後の持続的な安定に向けて、開発の推進と治安能力の強化、政治プロセスの推進が喫緊の課題。「アフガニスタンに関する東京会合」を開催することにより、引き続きアフガン政府の努力を後押しし、アフガニスタン復興支援に貢献することが目的。								
事業概要 (5行程度以内。別添可)	a. アフガニスタン復興支援については、我が国は、対テロ対策の最前線として、開発、治安、反政府武装勢力の再統合を支援の重点分野と位置付け支援を実施。平成24年7月には、我が国とアフガニスタン政府の共催で「アフガニスタンに関する東京会合」を開催し、国際社会が2014年以降も総額160億ドル以上の支援を行うことを表明。我が国は、2012年から概ね5年間で30億ドル規模の支援を行うことを表明。 b. 上記会合の成果を踏まえ、アフガニスタンの安定化を着実に進めるため、アフガニスタン政府やUNAMA等の関係者と協議を実施。								
実施方法	☒ 直接実施 ☐ 委託・請負 ☐ 補助 ☐ 負担 ☐ 交付 ☐ 貸付 ☐ その他								
予算額・執行額 (単位:百万円)	当初予算 補正予算 繰越し等 計		22年度	23年度	24年度	25年度	26年度要求		
			10	8	40	5	19		
			—	—	—	—			
			—	—	—	—			
	執行額		5	5	30				
	執行率(%)		47.4	54.7	75				
成果目標及び成果実績 (アウトカム)	成果指標				単位	22年度	23年度	24年度	目標値 (25年度)
	国際社会が注視するアフガニスタンの安定化に向け、アフガニスタン政府の努力を後押しすること。成果実績は国外会合への参加人数もしくは本邦開催会合への参加人数。			成果実績	人	5	9	1055	10
				達成度	%	50	50	100	
活動指標及び活動実績 (アウトプット)	活動指標				単位	22年度	23年度	24年度	25年度活動見込
	アフガニスタンの安定化に資する国際会議を日本で開催。また、その成果を踏まえ、引き続き同国の復興支援を継続。			活動実績 (当初見込み)	回	0	0	1	(2)
単位当たりコスト	0.0341 (百万円/1人)			算出根拠	予算額/会合参加者数				
平成25・26年度予算内訳	費目	25年度当初予算	26年度要求	主な増減理由					
	その他	5	19						
	計	5	19						

事業所管部局による点検						
	項 目		評 価	評価に関する説明		
国費投入の必要性	広く国民のニーズがあるか。国費を投入しなければ事業目的が達成できないのか。		○	平成24年7月、本邦にて「アフガンに関する東京会合」を開催。アフガニстанは、国際的なテロの温床となった経緯もありその復興と持続的な発展が我が国を含む国際社会の喫緊の課題の1つ。我が国も、2001年以降、40億ドル以上の支援を実施。本件は、我が国の外交に関わる事業であり、自治体等に委ねることは不適切。		
	地方自治体、民間等に委ねることができない事業なのか。		○			
	明確な政策目的（成果目標）の達成手段として位置付けられ、優先度の高い事業となっているか。		○			
事業の効率性	競争性が確保されているなど支出先の選定は妥当か。		○	会合開催会場及び関連業務については複数社による見積もり合わせにより、経費節減を図った。		
	受益者との負担関係は妥当であるか。		○			
	単位当たりコストの水準は妥当か。		○			
	資金の流れの中間段階での支出は合理的なものとなっているか。		○			
	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。		○			
	不用率が大きい場合、その理由は妥当か。（理由を右に記載）		○			
事業の有効性	事業実施に当たって他の手段・方法等が考えられる場合、それと比較してより効果的あるいは低コストで実施できているか。		○	平成24年7月に開催した本邦会合は十分な成果を上げることができた。同会議では、アフガニстанの開発に必要な総額160億ドル以上の国際社会からのコミットメントがなされるとともに、アフガニстан側の責任も明確化する「東京フレームワーク」が創設される等、期待されていた成果が達成された。また、同会合の開催以外の方法で、右成果を達成することは不可能であった。同会合後、「東京フレームワーク」に基づき、アフガニстан政府が汚職対策等に取り組んでおり、成果は十分に活用されている。		
	活動実績は見込みに見合ったものであるか。		○			
	整備された施設や成果物は十分に活用されているか。		○			
重複排除	類似の事業がある場合、他部局・他府省等と適切な役割分担を行っているか。（役割分担の具体的な内容を各事業の右に記載）		—			
	事業番号	類似事業名	所管府省・部局名			
点検結果	本件事業実施に際して、見積もり合わせを行うなどして単位当たりのコスト削減に努めつつ、円滑な会合を開催した。今後も経費削減に努め事業を実施していく。また、平成24年7月の東京会合のフォローアップを行うとともに、2014年4月のアフガニстан大統領選挙に向けた同国国内情勢の安定化に引き続き貢献する。					
外部有識者の所見						
-						
行政事業レビュー推進チームの所見						
現状通り	引き続き、適切かつ効率的な事業実施に努める。					
所見を踏まえた改善点/概算要求における反映状況						
現状通り	-					
備考						
関連する過去のレビューシートの事業番号						
	平成22年	499	平成23年	486	平成24年	248

個別事業名： アフガニスタン復興支援会合

※平成24年度実績を記入。執行実績がない新規事業、新規要求事業については現時点で予定やイメージを記入。



資金の流れ
(資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する)
(単位：百万円)

個別事業名： アフガニスタン復興支援会合

費目・使途 (「資金の流れ」においてブロックごとに最大の金額が支出されている者について記載する。費目と使途の双方で実情が分かるように記載)	A. (社)国際交流サービス			E.		
	費 目	使 途	金 額 (百万円)	費 目	使 途	金 額 (百万円)
	招聘費	アフガニスタンに関する東京会合(招聘)	2.5			
	計		2.5	計		0
	B. (株)コンベンションリンケージ他			F.		
	費 目	使 途	金 額 (百万円)	費 目	使 途	金 額 (百万円)
	損料借料	アフガニスタンに関する東京会合(会議運営業務)	8			
	雑役務費	アフガニスタンに関する東京会合(会議運営業務)	6			
	損料借料	アフガニスタン復興支援会合(会場)	5			
	損料借料	アフガニスタン復興支援会合(什器レンタル)	1			
	諸謝金	アフガニスタンに関する東京会合(会議運営業務)	4			
	会議費	レセプション開催に伴うケータリング代	2			
	計		26	計		0
	C.			G.		
	費 目	使 途	金 額 (百万円)	費 目	使 途	金 額 (百万円)
	計		0	計		0
	D.			H.		
	費 目	使 途	金 額 (百万円)	費 目	使 途	金 額 (百万円)
	計		0	計		0

個別事業名： アフガニスタン復興支援会合

支出先上位10者リスト

A.

	支 出 先	業 務 概 要	支 出 額 (百万円)	入札者数	落札率
1	(社)国際交流サービス	招聘接遇業務	2.5	3	79.50%
2					
3					
4					
5					
6					
7					
8					
9					
10					

B

	支 出 先	業 務 概 要	支 出 額 (百万円)	入札者数	落札率
1	(株)コンベンションリンクージ	会議運營業務	18	3	79.10%
2	(株)プリンスホテル	会議会場費	5	2	33.30%
3	アコムレンタル(株)	会議準備事務局用什器借上費	1	2	見積合わせ
4	(株)プリンスホテル	レセプション開催に伴うケータリング代	2	5	78.41%
5					
6					
7					
8					
9					
10					

C

	支 出 先	業 務 概 要	支 出 額 (百万円)	入札者数	落札率
1					
2					
3					
4					
5					
6					
7					
8					
9					
10					